

# まちなかの緑と いきものについて

## まちの自然と暮らしを豊かにする「みどりのネットワーク」

北九州市を取り巻く豊かな自然地とつながった公園や道路、河川の緑は「みどりのネットワーク」となり、鳥などのいきものの移動ルートとなります。この「みどりのネットワーク」を通じてさまざまないきものが都市の緑を訪れることで、人工的な都市の緑の質が高まっていきます。質の高い緑のある生活環境は私たちの暮らしを豊かにしてくれます。

## まちなかの緑といきものの関係

都市の緑の中でも様々ないきものが生活し、関係性を築いています。質の高い緑とは、様々ないきものの生息環境となり、このいきもの同士の関係が多様な空間です。

施設が密集して自然的な環境がほとんどない都心部では、たとえ小規模なものでも草地や水辺などのビオトープがあることで様々ないきものの生息生育空間となり、緑の質を高めることができます。



## まちに暮らすいきものたち

北九州市では平成27年度より「生き物との共生モデル」実証調査を行い、山田緑地、中央公園、勝山公園のいきものの生息状況を調査しました。調査の結果、豊かな自然地に暮らすいきものが「みどりのネットワーク」を通り、まちなかに少しずつ訪れている状況がわかってきました。今後、まちなかの緑の質がさらに高まることでまちなかでもより多くのいきものに出会えるかもしれません。

